

ぶんきゆう
文久元年十月二十日
ちかこないしんのうけいし
親子内親王京師を發す。今明二夜、
おおつのえき
大津駅
にとまになかせんどうにとうげについで江戸城に入る『孝明天皇紀』

令和6年7月2日（火）

9月23日（月・祝）

木曾街道六十九次

和宮さま御一行の通った中山道

〒637・0016 奈良県五條市近内町526番地

NPO法人うちのの館 やかた

電話とファックス 0747(22)4013

月曜休館 月曜祝日の時は開館して翌日休館

9時～16時

高校生以上300円・小中学生200円

20名以上2割引



「藤岡家住宅」令和6年7月～9月の展示

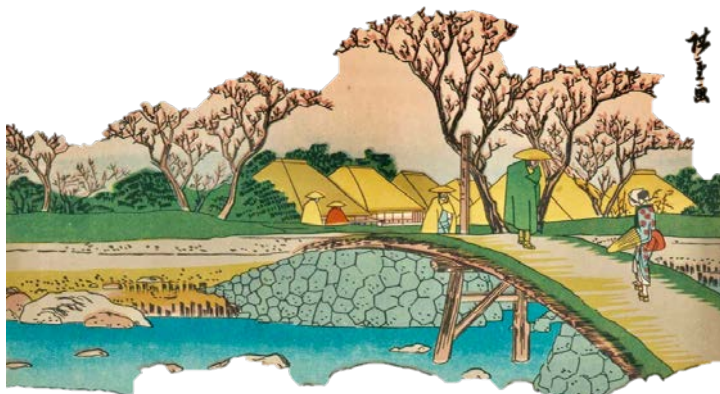
FUJIOKA-KE-JYUTAKU

info@uchinono-yakata.com <http://www.uchinono-yakata.com>



「藤岡家住宅」令和6年7月～9月の展示
『木曾街道六十九次 ～和宮さま御一行の通った中山道～』
令和6年7月2日（火）～9月23日（月・祝）

一	日本橋	英泉
二	板橋	同
三	蔵	同
四	浦和	同
五	大宮	同
六	上尾	同
七	桶川	同
八	鴻巣	同
九	熊谷	同
十	深谷	同
十一	本庄	同
十二	新所	英泉
十三	倉敷	英泉
十四	高崎	英泉
十五	松本	同
十六	安中	英泉
十七	松井田	同
十八	板本	英泉
十九	輪井澤	英泉
二十	皆掛	英泉
二十一	追分	同
二十二	小川	英泉
二十三	岩村田	英泉
二十四	滝	英泉
二十五	八幡	英泉
二十六	望月	同
二十七	蘆田	同
二十八	長久保	同
二十九	和四	同
三十	下流	同
三十一	洗馬	英泉
三十二	馬	英泉
三十三	本山	同
三十四	勢川	同
三十五	赤坂	英泉
三十六	越	同
三十七	宮	同
三十八	福	同
三十九	上	同
四十	須	同
四十一	野	同
四十二	三	英泉
四十三	三	英泉
四十四	三	英泉
四十五	三	英泉
四十六	三	英泉
四十七	三	英泉
四十八	三	英泉
四十九	三	英泉
五十	三	英泉
五十一	三	英泉
五十二	三	英泉
五十三	三	英泉
五十四	三	英泉
五十五	三	英泉
五十六	三	英泉
五十七	三	英泉
五十八	三	英泉
五十九	三	英泉
六十	三	英泉
六十一	三	英泉
六十二	三	英泉
六十三	三	英泉
六十四	三	英泉
六十五	三	英泉
六十六	三	英泉
六十七	三	英泉
六十八	三	英泉
六十九	三	英泉
七十	三	英泉



『木曾街道六十三次』より「目次」
「赤坂宿」広重画（表紙）「新町」広重画
（裏表紙）「鶴沼」英泉画

中山道は江戸時代に整備された五街道の一つで「木曾街道」とも呼ばれました。江戸の日本橋と京都の三条大橋を内陸経由で結ぶ135里34町（約526.3km）の道で、東海道よりも40kmほど長く、宿場も16宿多く置かれていました。宿場数が多かったのは、険しい山道が多く、冬には降雪して通行が難しい場所もあって、1日の歩行距離に限界があったためです。それにもかかわらず往来が盛んであった理由として①「東海道には船の使用が許されず川越人足が置かれ、大井川や安倍川では時に長期の川止めがあったこと」。②「入鉄砲出女」（江戸に持ち込まれる鉄砲を制限し、江戸屋敷の大名の妻女が江戸から出るのを防ぐため、婦女子が江戸から出ることを厳しく取り締まった江戸幕府の政策）。③「中山道の旅籠の宿代が、東海道よりも安かったこと」が挙げられます。『孝明天皇紀』には皇女和宮さまが江戸に出立するまでの詳細な記録があります。

蔓延元年（1860）2月23日「和宮、参議橋本実麗第（和宮実家）より桂御所に移り給ふ」

文久元年（1861）3月2日「幕府東国諸川満水の故を以て和宮東下の延期を請ふ」

和宮さまの御一行は当初東海道を通過して江戸に行く予定でしたが、東国の河川の満水の報告を得て、3月26日に中山道を通る計画となりました。

同年10月20日「親子内親王京師を発す 今明二夜大津駅に駐り中山道より東下 尋で江戸城に入る」

藤岡家所蔵『木曾街道六十九次』（歴史新報社 昭和初期 発行年不明）は、江戸時代に刊行された『木曾街道六十九次』（全70図 天保6年（1835）発行）を復刻したもので、溪斎英泉と歌川（安藤）広重の合作（合計71枚の内訳は広重作47図、英泉作24図）です。この絵図を中心に、和宮さまが御所を出立され、中山道を通り、清水門から江戸城清水殿に入られた経路をたどり、和宮さまが目にした風景を追います。